

# CADデータから VRを作成



▲「共有計画」の画面イメージ

総合ニュース

## 仮想空間、LINEで共有

安心計画

安心計画（福岡県福岡市）は新サービスの「共有計画」を4月よりリリースする。このサービスではCADデータからクラウドVRコンテンツの作成が容易になり、LINEやメールで誰でも簡単に共有できる。不動産業者支援のス

ペースリー（東京都渋谷区）と安心計画の共同開発により、両社の主力ソフトであるVRクラウドと3D住宅プレゼンCAD「ウォークインホーム・プラス」がワンタッチで連動可能となった。今回の連動機能で、CA

Dのデータから高品質なクラウドVRコンテンツが数秒で作成可能となる。これまで「ウォークインホーム・プラス」から書き出したデータをクラウドのVRコンテンツにするには、シーンの書き出しやアップロード、間取り図の設定などの手間

がかかっていたが、それがわずか数秒で可能になった。「ウォークインホーム・プラス」で作成したプランデータをワンタッチで「共有計画」の360度VRコンテンツに変換し、さまざまな機能を付加・編集して独自のコンテンツを制作できる。

空間を遠隔で確認したり、事業者とコミュニケーションを取りやすくしたりする。事業者にとっても消費者にとってのも利便性が向上する。利用できるプランは2種類あり、月額4980円（税別）のBasicプランと、アカウント数や保管可能画像枚数を増やした月額1万2980円（税別）のProプランから選択可能。